



▲効果的な打ち方について説明する小椋さんと真剣なまなざしで見つめる会場の子どもたち



**貴重な体験楽しむ**  
のぼりべつカルチャーナイト2017  
9月22日(金)、市内の14施設で『のぼりべつカルチャーナイト2017』(同実行委員会主催)が開催されました。この行事は、夜間に公共施設や観光施設、民間の店舗などを開放し、催しを提供することで、市民などが施設の見学や地域の文化などを楽しむものです。参加者は、初めて乗った『はしご車』の高さに驚いたり、市立図書館では大人と子どもと一緒に百人一首に熱中するなど、普段は体験する機会の少ない文化などを楽しみました。

9/22

**未来の夢、育む**

北京オリンピックバドミントン日本代表  
小椋久美子さんトークショー & 実技指導

10/1

10月1日(日)、総合体育館で『2020東京オリパラで夢を育むスポーツ推進事業』の一環として、小椋久美子さんを講師に招き、イベント(市教育委員会主催)を開催しました。トークショーで小椋さんは、オリンピックの舞台に登場したときの経験談などについて話しをしたほか、「こんな選手になりたい、こういうプレイをしてみたいなど、自ら考えて、どのように行動に移すかという意識が大事」と会場にいる子どもたちに向けて、夢をかなえるためのメッセージを送っていました。また、元オリンピック選手からのバドミントンの実技指導に、子どもたちは刺激を受け、力強くラケットを振っていました。



▲消防士が『はしご車』を使って救出・救護するときの高さを体験した子どもたち

**8日間で学んだこと**

登別市デンマーク友好都市  
中学生派遣交流団帰国報告会

9/27

9月27日(水)、市民会館で『登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団帰国報告会』(市主催)を開催しました。今年、日本と外交関係を樹立してから150年を迎えるデンマーク王国に派遣されたのは、市内の中学生4人と北海道登別明日中等教育学校の中学校にあたる前期課程の生徒1人。それぞれが興味をもっていたデンマーク王国の音楽や食べ物などについて、発表を行いました。発表を聞いていた保護者や学校関係者などは、親元を離れ、ホームステイなどをしながら過ごした8日間での成長を感じ、大きな拍手を送っていました。



▲デンマーク王国の文化に触れ、国際理解を深めた派遣交流団

**消防・救急をより身近に**

消防・救急フェスティバル

10/7

10月7日(土)、イオン登別店で『消防・救急フェスティバル』(市主催)を開催しました。この催しは、年齢を問わずに楽しみながら、消防活動や救急業務にふれていただくことを目的として、毎年、行っているものです。今年も、時折、雨が降るあいにくの天気にもかかわらず、多くの子どもたちが訪れ、ロープをつたって渡ったり、防火服を着て放水を体験する真剣な姿に、保護者は笑みをこぼしていました。